

令和5年度学校評価実施状況報告書

1 学校評価の流れ

年度当初に「教育方針」の理念、教育目標、重点項目を踏まえて、それらの実現に向けて各校務分掌・学年団・教科・学科がそれぞれ重点目標と具体的方策を設定した。評価にあたっては、自己評価としてそれぞれの重点目標がどの程度達成できているかを問う形で、2回の評価を行った。10月に上半期における取組に対する中間評価を行い、2月下旬には下半期を加えた年間評価を実施した。保護者からの評価や教員間での相互評価を得るために、12月に保護者および教職員を対象にそれぞれアンケートを実施した。

それらの集計結果等を参考に、1月下旬には各校務分掌・学年団・教科・学科が今年度の成果と課題を総括し、来年度に向けての改善策をまとめた。また、2月19日に学校評議員会（学校関係者評価）を開催した。学校評議員会では、学校の取組について紹介し、保護者アンケート・教職員アンケートの調査結果について説明した。また、説明や資料を基に今年度の学校の取組に対する意見・感想をいただき、今年度の学校評価を終えた。

《学校評価年間計画》

	生徒	保護者	職員	学校評議員
4月				・委嘱
5月	・授業評価の項目検討	・PTA総会 (前年度評価結果)	・学校評価 年間計画策定 ・学校自己評価 重点目標等策定	
6月				・第1回学校評議員会 (学校評価年間計画)
7月	・授業評価 7月5日～7月11日 ・学校生活に関する 調査(第1回)	・学級懇談会 ・教科書選定 (PTA役員代表)	・授業評価分析	・教科書選定 (学校評議員代表)
8月	・授業評価報告			
9月		・総合祭		・総合祭
10月		・学校教育評価 項目検討	・学校自己評価 (上半期)	
11月		・公開授業アンケート 11月13日～11月15日		・公開授業アンケート 11月13日～11月15日
12月	・学校生活に関する 調査(第2回)	・学級懇談会 ・学校教育評価実施	・学校教育評価実施	・学校関係者評価 項目検討
1月				
2月	・インターンシップ アンケート (工業科2年)	・学校教育評価 結果報告 (PTA理事会)	・学校自己評価(年間) ・成果と課題、 改善策の取りまとめ	・第2回学校評議員会 (学校関係者評価)
3月		・HPで学校教育評価 結果を報告		

2 評価結果のまとめ

(1) 学校自己評価結果

各校務分掌・学年団の今年度の取組に対する自己評価結果は、年間では、3＝「だいたいできている」が多かったが生徒指導部では、昨年度の1＝「ほとんどできていない」から2＝「ほとんどできていない」から上昇ができていますが、女子生徒の服装、化粧の指導等の指導面での課題が残った。来年度に向けて、指導方針を保護者に知らせ、来年度に向けて取り組みを進めていく準備をしている。

各教科での今年度の取組に対する自己評価結果は、年間では、3＝「だいたいできている」が多かった。しかし、国語や商業では、日頃の学習習慣の定着や資格検定への合格率など、目標としていたレベルまで到達できなかった。日々の課題の検討や個別指導の対応などを検討していく必要がある。

新型コロナウイルスも第5類になり、総合祭やS-MARTでは地域の方々に多く来ていただくことができ、本校の教育活動を見ていただくことができた。また、それ以外の行事でも従来と同等な行事の実施することができた。また、授業活動では教室内に設置された大型プロジェクタやタブレット等のICT機器を多くの先生が活用し、生徒の興味・関心を高め、効果的な授業を実践することができた。

(2) 学校教育評価（保護者アンケート）の分析と考察

昨年度と同様に、校務分掌、学年団の取組について、すべての質問項目に対して、A＝「そう思う」、B＝「だいたいそう思う」の肯定的な回答がほぼ8～9割であった。しかし、E＝「判断ができない（わからない）」の回答が昨年度より高くなっており、特に、人権・同和教育部や教育相談部、教育研究部が高くなっている。人権だより等の活動の報告やFacebook、ホームページを活用した情報発信など、行っているが、発信した情報を見ていなかったり、教育相談部のように必要としている生徒への業務が中心であったりするため、E＝「判断ができない（わからない）」の回答が増えたと考えられる。

また、本校のホームページや保護者専用のサイトの閲覧状況について調査については、昨年度と比べ、大きく向上し、多くの保護者が見てくれている結果となった。向上した要因として、積極的なホームページの更新が考えられる。今後も積極的にホームページの更新し、情報発信を行っていきたい。

保護者の意見の中に、学校公開日の日数を増やしてほしい、選択授業の調査時期などのご意見をいただいた。1月の職員会議でアンケートの状況や意見を説明し、共有した。今後改善できる部分については担当する校務分掌に検討してもらい、改善を進めていきたい。

今年度も省力化、省資源化のためにアンケートをインターネット上のWeb入力で行い、教員の集計業務は省力化しているが、昨年度より減少した。特に3年生の保護者のアンケートの回答率が非常に低かった。アンケートの実施についてClassi等を利用して、保護者に通知し、1年生、2年生は懇談の中でもアンケートの周知を行った。3年生については、該当者だけの懇談だったため、周知があまりできなかったため、アンケートの周知方法について、改善する必要がある。

(3) 学校教育評価（教職員アンケート）の分析と考察

各評価項目のほとんど昨年と比べ、評価は向上している。中でも教務部や教育研究部、教育相談部等では、評価が高く、ICTを活用した情報発信や授業の取組、ESD委員の活動の取組の成果があらわれている。また、昨年度評価が低かった生徒指導部では昨年度と比べA＝「そう思う」の数値も向上し、生徒指導面での共通理解が進み、効果があらわれている。

職員の意見では、ICT化によるタブレットの使用の問題点やスクールミッション、スクールポリシーの共通理解の必要性、定期的に改善のためのアンケートの実施等の意見をいただいた。今回の意見を参考に生徒のタブレットの使用方法や全教職員間スクールミッション、スクールポリシーの共通理解や業務改善のアンケート実施等について検討し、改善を行っていきたい。

(4) 学校関係者評価

① 先生方の生徒に対する思いが良く分かった。時代の移り変わりの中で教育の在り方人を育てる難しさを感じている。今後も生徒のために、尽力してほしい。

② 仕事の関係で十分に総合高校の取組を見ることはできなかったが、ホームページやFacebookで学校の様子を見ている。その中でローソンとの連携や部活動の取組等を見ることができ、生徒が意欲的に取り組んでいることが分かった。また、新聞等のメディアに取り上げられるのを目にし、うれしさも

感じている。これからも情報発信を大切にして、総合高校をPRしてほしい。

- ③ 学校評価のアンケートを見て、保護者から評価を得ていると感じている。教職員アンケートではBの項目が多く、少し抑えられている感じがするが教員の皆さんが一生懸命に教育に取り組んでいることがうかがえる。

3 次年度の課題

- ① 来年度もホームページや保護者用サイトへの閲覧を増やし、本校の教育活動を知ってもらえるようにする。
- ② Webアンケートで実施による回答率を上げるための工夫を検討する。
- ③ スクールミッションやスクールポリシーについて職員会議等で周知を行い、共通理解を図り、教職員全体で取り組みを進めていく。